

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム戦略課

担当名: 県民サービス・システム共同化担当

内線: 2294

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P12	統合プラットフォーム推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	電子計算運営費	
事業期間	平成27年度～令和9年度	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット
1 事業の概要 庁内システムが集約された、統合基盤の維持を引き続き行い、経費の削減と平準化を図る。 これにより、個別システムの運用負担の軽減やセキュリティレベルの統一的な向上を図る。  共同クラウド化基盤を安定的に維持管理するとともに、参加団体・稼働システムを拡大する。  ア 統合基盤運用 △ 6,374千円 イ 市町村システム共同クラウド化 △140,283千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 統合基盤運用及びシステム集約 96,880千円 統合基盤の運用(クラウドサービスの利用、回線費用、サポートデスク) イ 市町村システム共同クラウド化 172,524千円 共同クラウドの運用(共同クラウド基盤、県域ネットワーク、サポートデスク)  (2) 事業計画 ア 統合基盤運用 クラウド環境に構築した統合基盤を安定的に維持管理する。 イ 市町村システム共同クラウド化 埼玉県市町村共同クラウドの利用を促進し、参加団体・稼働システムの拡大を図る。  (3) 事業効果 ・庁内情報システム運用経費の削減、平準化、管理負担の軽減 ・システムのセキュリティレベルの向上とデータセンターの活用によるICT-BCPの向上  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 情報システムの集約を進めていく中で、システム運用業務の見直しを図ることで、職員の業務負荷軽減を図る。 また、クラウドサービスを利用することで、民間のクラウドサービス事業者が持つセキュリティ機能や災害時の対応力を活用する。  (5) 補正予算の概要 ア クラウド利用料の委託料節減による減 イ クラウド利用料の委託料節減による減					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 市町村負担あり									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.0人=38,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△146,657	諸収入	△220					△146,437	269,404
現計額	416,061		6,427					409,634	

## 事業内訳書

事業名	統合プラットフォーム推進事業費		
単位事業名	統合基盤運用	予算額	△ 6,374千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△6,374	—	
合計	△6,374	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△265	—	緊急連絡用携帯電話節減による減
委託料	△5,908	—	クラウド利用料節減による減
使用料及び賃借料	△201	—	統合基盤通信機器賃借料に係る契約差金による減
合計	△6,374	—	

単位事業名	市町村システム共同クラウド化	予算額	△ 140,283千円
-------	----------------	-----	-------------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	△220	—	市町村共同クラウド運用市町村等負担金

単位事業名	市町村システム共同クラウド化	予算額	△ 140,283千円
-------	----------------	-----	-------------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△140,063	—	
合計	△140,283	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△140,283	—	クラウド利用料節減による減 △137,481千円 データ連携機能の運用委託料節減による減 △2,802千円
合計	△140,283	—	